



高山市の広報活動について

～アンケートのまとめ～

平成26年3月

高山市企画管理部企画課

1. はじめに

市では、市民ニーズにあった広報の手法を検討するため、今年度実施した「高山市まちづくりアンケート」において、市政情報の入手手段や広報紙「広報たかやま」の紙面に対する満足度など、市の広報活動に関する意識調査を実施しました。

そのアンケートの回答結果から、本報告書をとりとまとめました。

2. 調査の方法

アンケート調査の概要

調査期間 平成 25 年 5 月 17 日～6 月 7 日

調査地域 市内全域

実施方法 郵送による配布・回収、無記名式

調査対象 18 歳以上の市民 3,000 人

抽出方法 平成 25 年 5 月 1 日現在の住民基本台帳から無作為抽出

回収結果 発送数 3,000 人に対して回収数 1,239 人（回収率 41.3%）



広報たかやま

3. アンケート結果

「高山市まちづくりアンケート」の中で、広報に関するアンケートは、問13から問16まであります。各集計結果を紹介します。

なお、各集計における割合は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

問13 あなたは普段、市が行っている事業や提供しているサービス等に関する情報を、主に何によって知ることが多いですか。（3つまで回答可）

【単純集計】 *回答人数 1,239人

アンケート設問	回答数	割合 (%)
1. 広報たかやま	1,054	85.1
2. 市のホームページ	108	8.7
3. メール配信サービス	90	7.3
4. ヒッツFM（シティーインフォメーション等）	147	11.9
5. ケーブルテレビ（「ハイ、市役所です」など）	112	9.0
6. 町内会の回覧板	589	47.5
7. 市が作成するポスター・チラシなど	140	11.3
8. 家族や知人の話	181	14.6
9. 新聞やテレビなどのマスメディア	216	17.4
10. 新聞折り込み等で配布される地域情報紙	296	23.9
11. その他	10	0.8
12. 無回答	64	5.2
計	3,007	

市政情報を知る手段は広報紙が最も多い

回答では広報紙が最も多く、全体の約 85%の人が選択していました。

次に多かった回答は町内会の回覧板で、全体の約 48%の人が選択していました。

続いて、地域情報紙（23.9%）、新聞やテレビなどのマスメディア（17.4%）、家族や知人の話（14.6%）、ヒッツFM(11.9%)、市が作成するポスター・チラシ(11.3%)、ケーブルテレビ(9.0%)、市のホームページ（8.7%）、メール配信サービス（7.3%）の順でした。

なお、自由意見としては「防災ラジオ」「NHKのデータ放送」がありました。

広報紙は主要な広報媒体であることが明らかになりました。また、ホームページやメール配信サービスは行政情報の取得方法で、まだ 10%に満たない媒体であることが明らかになりました。

町内会の回覧板は約半数の人が選択していたことから、有効な広報媒体と言えます。

広報紙や町内会の回覧板は、行政情報の伝達には有効な手段であるため、引き続き積極的に活用する必要があります。

ホームページやメール配信サービスは、市民に対して迅速な周知が可能な広報媒体であることをさらにPRする必要があります。

【クロス集計】 広報紙から回覧板まで

		標本数 (件)	行政情報の取得手段 (%)					
			広報紙	HP	メール	FM	CATV	回覧板
性別	男	499	82.8	11.0	7.0	15.6	9.2	44.3
	女	691	87.7	7.2	8.0	9.3	9.4	50.2
	無回答	49	71.4	6.1	0.0	10.2	2.0	42.9
年齢	～20代	70	71.4	7.1	4.3	14.3	1.4	28.6
	30代	144	83.3	18.8	15.3	15.3	9.0	31.3
	40代	170	85.3	12.9	16.5	15.9	5.3	45.9
	50代	219	85.8	11.4	10.5	15.1	10.5	43.4
	60代	305	90.5	4.6	3.6	13.8	10.8	57.4
	70代～	318	84.6	4.4	0.9	4.1	10.4	54.4
	無回答	13	46.2	7.7	0.0	0.0	0.0	23.1
居住 地域	高山	795	84.7	8.4	7.7	10.9	5.8	49.8
	丹生川	66	80.3	15.2	9.1	18.2	0.0	39.4
	清見	44	90.9	9.1	4.5	15.9	4.5	34.1
	莊川	20	95.0	10.0	15.0	5.0	5.0	60.0
	一之宮	29	79.3	10.3	6.9	13.8	31.0	37.9
	久々野	56	91.1	8.9	3.6	7.1	26.8	50.0
	朝日	26	96.2	3.8	3.8	19.2	26.9	38.5
	高根	9	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0	44.4
	国府	124	87.1	7.3	6.5	13.7	25.8	50.8
	上宝	34	88.2	14.7	2.9	17.6	0.0	35.3
	奥飛驒	18	88.9	0.0	11.1	11.1	0.0	33.3
	無回答	18	66.7	5.6	5.6	11.1	0.0	33.3

【クロス集計】 市が作成するチラシ等から無回答まで

		標本数 (件)	行政情報の取得手段 (%)					無回答
			チラシ	家族知人	新聞 TV	情報紙	その他	
性別	男	499	10.4	13.2	21.8	19.0	1.0	5.6
	女	691	12.0	15.5	14.2	27.4	0.4	4.1
	無回答	49	10.2	16.3	18.4	24.5	4.1	16.3
年齢	～20代	70	12.9	34.3	18.6	18.6	0.0	1.4
	30代	144	9.0	19.4	12.5	16.7	0.0	0.7
	40代	170	5.3	11.8	16.5	19.4	0.6	1.2
	50代	219	9.1	13.7	11.4	21.9	0.0	4.6
	60代	305	14.4	14.1	18.7	25.9	1.3	3.3
	70代～	318	14.2	10.4	22.6	29.6	1.3	11.3
	無回答	13	0.0	23.1	23.1	38.5	7.7	30.8
居住 地域	高山	795	11.9	14.5	17.6	25.8	0.6	4.8
	丹生川	66	6.1	16.7	24.2	21.2	3.0	6.1
	清見	44	13.6	11.4	11.4	34.1	0.0	6.8
	荘川	20	10.0	10.0	20.0	5.0	5.0	0.0
	一之宮	29	6.9	10.3	10.3	20.7	3.4	10.3
	久々野	56	12.5	12.5	17.9	12.5	0.0	5.4
	朝日	26	3.8	19.2	15.4	30.8	0.0	3.8
	高根	9	22.2	22.2	11.1	0.0	11.1	22.2
	国府	124	8.1	14.5	17.7	18.5	0.0	1.6
	上宝	34	20.6	20.6	8.8	29.4	0.0	5.9
	奥飛驒	18	11.1	22.2	27.8	16.7	0.0	5.6
	無回答	18	11.1	11.1	16.7	22.2	0.0	27.8

性別で比較すると、男性は新聞等のマスメディアやホームページ、ヒッツFMによる取得割合が高く、女性は広報紙や町内会の回覧板。地域情報紙による取得割合が高くなっています。

年代別でみると、20代以下は他の年齢層と比べ、家族や知人の話からによるものの割合が高いですが、総じて行政情報の取得が低くなっています。

30代から50代はホームページ、メール配信、ヒッツFMの取得割合が他の年齢層より高くなっています。

50代から70代以上はケーブルテレビの取得割合が他の年齢層より高くなっています。

60代から70代以上は町内会の回覧板やチラシ、新聞等のマスメディア、地域情報紙からの取得割合が他の年齢層より高くなっています。

居住地域でみると、荘川、高根、奥飛騨ではメール配信の取得割合が他の地域より高くなっています。

支所地域のうち、一之宮、久々野、朝日、国府はケーブルテレビの取得割合が高くなっています。

広報紙は性別や年齢、居住地域に関わらず、主要な広報媒体であることが明らかになりました。また、ホームページやメール、ヒッツFMは50代以下で、ケーブルテレビは50代以上で、町内会の回覧板は40代以上（特に60代以上）で取得割合が高まることから、それらの年齢層に特に有効な広報媒体であると言えます。

ケーブルテレビが整備されており、地域内の多くが加入している一之宮、久々野、朝日、国府では、ケーブルテレビから行政情報を取得する割合が高いことが明らかになりました。今後、未整備地域の解消が進むにつれ、他地域でも取得割合が高まるものと思われます。

性別や年齢に関わりなく行政情報を伝達するためには、広報紙が最も主要な広報媒体であり、次に町内会の回覧板であることが言えます。また、年齢や地域によって、ホームページやメール配信、ヒッツFM、ケーブルテレビが有効な広報媒体であることが明らかになりました。

伝達したい行政情報の内容等に応じて、月2回発行の広報紙や町内会の回覧板、即時性の高いメール配信やヒッツFMなど、さまざまな広報媒体を効果的に活用していくことが重要であると言えます。

今後とも新聞やテレビの報道各社への情報提供を行うとともに、地域情報紙を利活用することも検討していく必要があります。

問14 あなたは普段、「広報たかやま」をどれくらい読んでいますか。(1つに○印)

【単純集計】

アンケート設問	回答数	割合 (%)
1. 毎号必ず読んでいる	641	51.7
2. ときどき読んでいる	335	27.0
3. あまり読んでいない	114	9.2
4. まったく読んでいない	40	3.2
無回答	109	8.8
計	1,239	

2人に1人は必ず読む「広報たかやま」

「広報たかやま」を毎号必ず読んでいる人は51.7%で、ときどき読んでいる人と合わせると全体の約79%ありました。

また、あまり読んでいない人と、まったく読んでいない人が全体の約12%ありました。

多くの方に読まれていることを踏まえ、より内容の充実を図りながら、今後も発行する必要があります。

【クロス集計】

		標本数 (件)	「広報たかやま」を読む頻度 (%)				
			毎号必ず	時々	あまり	全く	無回答
性別	男	499	49.9	25.5	11.4	4.2	9.0
	女	691	53.0	28.8	7.7	2.6	8.0
	無回答	49	53.1	18.4	8.2	2.0	18.4
年齢	～20代	70	24.3	27.1	22.9	22.9	2.9
	30代	144	41.7	41.0	11.8	4.2	1.4
	40代	170	44.1	34.1	15.9	1.8	4.1
	50代	219	54.3	25.6	8.7	3.2	8.2
	60代	305	57.0	29.5	3.9	1.6	7.9
	70代～	318	60.4	16.0	6.6	0.6	16.4
	無回答	13	30.8	15.4	15.4	7.7	30.8
	居住	高山	795	51.3	27.4	8.6	4.2
丹生川		66	47.0	31.8	13.6	1.5	6.1
清見		44	52.3	29.5	4.5	0.0	13.6
莊川		20	50.0	30.0	10.0	0.0	10.0
一之宮		29	55.2	17.2	17.2	0.0	10.3
久々野		56	67.9	16.1	5.4	0.0	10.7
朝日		26	57.7	26.9	7.7	0.0	7.7
高根		9	44.4	0.0	22.2	11.1	22.2
国府		124	51.6	28.2	11.3	3.2	5.6
上宝		34	52.9	26.5	11.8	0.0	8.8
奥飛騨		18	50.0	27.8	11.1	5.6	5.6
無回答		18	27.8	38.9	5.6	0.0	27.8

性別で比較すると、男性より女性の方が読んでいる割合が比較的高くなっています。
 年代別でみると、20代以下は「あまり読んでいない」「まったく読んでいない」の割合が他の年齢層より高くなっています。
 30代以上になると「毎号必ず読んでいる」「ときどき読んでいる」の割合が高まり、特に50代以上は「毎号必ず読んでいる」と答えた割合は半数以上になっています。

全く読んでいない若年層に読んでもらうため、関心を引き付ける話題の掲載が必要です。

問14-2 問14で、1または2に○をつけた方に伺います。

あなたは、「広報たかやま」のどの紙面をよく読みますか。（複数回答可）

【単純集計】 ※回答人数 976 人

アンケート設問	回答数	割合 (%)
1. 表紙	256	26.2
2. 市の施策や事業	614	62.9
3. 連載シリーズ（家庭ごみ豆知識など）	243	24.9
4. くらしと健康	371	38.0
5. 情報のひろば（催しなどのお知らせ）	663	67.9
6. 観光イベント情報	371	38.0
7. 毎月1日号裏面企画（移住物語）	106	10.9
8. 毎月15日号裏面企画（カメラレポート）	102	10.5
9. その他	27	2.8
無回答	30	3.1
計	2,783	

「情報のひろば」や「市の施策や事業」が最も読まれる紙面

「情報のひろば」が最も多く、全体の約68%の人が選択していました。

次に読まれている紙面は「市の施策や事業」で、全体の約63%の人が選択していました。

続いて、くらしと健康（38.0%）、観光イベント情報（38.0%）、表紙（26.2%）、連載シリーズ（24.9%）、毎月1日号裏面企画（10.9%）、毎月15日号裏面企画（10.5%）の順でした。

「情報のひろば」や「市の施策や事業」を掲載するページは、主に市からのお知らせであり、これらに対する読者（市民）の関心の高さが明らかになりました。今後とも充実した紙面づくりが必要です。

また、読み物にあたる紙面の「裏面企画」などは、まだ読者の関心をあまり集めていないことが明らかになりました。今後は読まれる・目を引く紙面づくりが必要です。

【クロス集計】表紙から情報のひろばまで

		標本数 (件)	「広報たかやま」でよく読む紙面 (%)				
			表紙	施策事業	連載	健康	情報ひろば
性別	男	376	23.4	72.6	18.4	29.0	63.8
	女	565	27.8	56.5	29.9	44.1	71.3
	無回答	35	31.4	62.9	14.3	37.1	57.1
年齢	～20代	36	33.3	38.9	36.1	25.0	75.0
	30代	119	26.1	42.9	16.0	38.7	74.8
	40代	133	34.6	61.7	24.8	29.3	74.4
	50代	175	24.0	65.7	23.4	34.9	69.7
	60代	264	22.3	68.9	27.7	34.6	70.8
	70代～	243	67.9	25.9	48.6	56.4	29.2
	無回答	6	33.3	83.3	16.7	33.3	33.3

【クロス集計】観光イベント情報から無回答まで

		標本数 (件)	「広報たかやま」でよく読む紙面 (%)				
			イベント	1日号裏面	15日号裏面	その他	無回答
性別	男	376	34.8	11.2	9.0	2.7	2.7
	女	565	40.9	10.8	11.3	2.8	3.4
	無回答	35	25.7	8.6	11.4	2.9	2.9
年齢	～20代	36	55.6	5.6	8.3	0.0	0.0
	30代	119	42.0	10.9	12.6	4.2	0.8
	40代	133	44.4	9.0	6.8	3.8	0.8
	50代	175	38.3	8.6	10.3	1.1	2.3
	60代	264	39.0	11.4	8.7	2.7	3.0
	70代～	243	29.2	13.6	13.6	3.3	6.6
	無回答	6	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0

性別で比較すると、男性は「市の施策や事業」を読む傾向があり、女性は連載シリーズ（ごみの出し方、節電など）や「くらしと健康」「情報のひろば」「イベント情報」を読む傾向があることが分かりました。

年代別で見ると、40代から60代が「市の施策や事業」をよく読み、70代以上になると「くらしと健康」をよく読む傾向があることが明らかになりました。

また、20代以下では55.6%の人が「イベント情報」を「よく読む」と答えており、70代以上になると29.2%の人が同紙面を29.2%が「よく読む」と答えています。

なお、自由意見としては「全部見ている・写真がいい・分かりやすい」「自分に関係する記事をざっと見る」がありました。

「市の施策や事業」と「くらしと健康」は、一定の世代で多く読まれており、引き続き掲載していく必要があると言えます。また、「くらしと健康」については、高齢の読者への配慮が必要であり、文字のポイントを大きくするなどの工夫が必要であると言えます。

若年層はイベント紙面に関心があり、高齢層は関心が低いことが分かります。

年齢層に応じて、発信情報の内容を使い分けると、より効果的に伝えることができると言えます。

問15 「広報たかやま」の紙面についてどのようにお考えですか。次の各項目について、あなたの考えに近いものを選んでください。（それぞれ1つに○印）

【A】 紙面の内容

【単純集計】 (%)

	満足	やや満足	やや不満	不満	不明	無回答
市の施策や事業を紹介する記事	23.9	48.3	3.3	0.4	13.3	10.7
身近なまちの話題やイベント	25.0	47.9	2.5	0.7	11.2	12.7
情報のひろばなどお知らせ記事	24.1	48.1	2.3	0.6	11.8	13.1
移住物語のような読み物	14.9	42.6	2.1	1.1	23.8	15.4
全体の読みやすさ・理解しやすさ	20.5	48.7	3.7	1.4	12.3	13.5

紙面の内容を7割以上が満足

紙面を「満足、やや満足」と答えた人は、市の施策や事業を紹介する記事では72.2%、身近なまちの話題やイベントでは72.9%、情報のひろばなどお知らせ記事では72.2%、移住物語のような読み物では57.5%、全体の読みやすさ・理解しやすさでは69.2%でした。

一方、分からないと答えた人は平均約15%ありました。

また、不満の理由（自由意見）では「字が細かい」「なるべく詳しく知りたい」「忙しい中でもさっと読める目の通しやすい紙面を」がありました。

おおむね紙面の内容には満足を得られているものの、読み物記事についてはもっと読者の関心を引くよう工夫する必要があります。

【クロス集計】（％）市の施策や事業を紹介する記事

		標本数 (件)	満足	やや満足	やや不満	不満	不明	無回答
性別	男	499	23.0	49.9	3.0	0.2	14.4	9.2
	女	691	25.0	48.0	4.0	1.0	13.0	11.0
	無回答	49	22.0	39.0	4.0	0.0	8.0	27.0
年齢	～20代	70	13.0	40.0	4.0	0.0	39.0	4.0
	30代	144	17.0	53.0	6.0	1.0	20.0	4.0
	40代	170	12.0	61.0	5.0	1.0	19.0	2.0
	50代	219	17.0	59.0	3.0	1.0	11.0	10.0
	60代	305	29.0	47.0	3.0	0.0	9.0	12.0
	70代～	318	37.0	36.0	2.0	0.0	8.0	18.0
	無回答	13	15.0	31.0	8.0	0.0	0.0	46.0

【クロス集計】（％）身近なまちの話題やイベント

		標本数 (件)	満足	やや満足	やや不満	不満	不明	無回答
性別	男	499	21.6	49.5	2.6	0.6	13.8	11.8
	女	691	27.0	47.0	3.0	1.0	10.0	13.0
	無回答	49	29.0	45.0	2.0	0.0	2.0	22.0
年齢	～20代	70	20.0	40.0	4.0	0.0	33.0	3.0
	30代	144	24.0	54.0	1.0	2.0	16.0	4.0
	40代	170	15.0	62.0	4.0	2.0	15.0	2.0
	50代	219	20.0	58.0	3.0	1.0	10.0	10.0
	60代	305	30.0	48.0	2.0	0.0	8.0	13.0
	70代～	318	31.0	33.0	3.0	0.0	8.0	25.0
	無回答	13	23.0	39.0	8.0	0.0	0.0	31.0

【クロス集計】（％）情報のひろばなどのお知らせ記事

		標本数 (件)	満足	やや満足	やや不満	不満	不明	無回答
性別	男	499	21.0	49.9	2.8	0.4	13.8	12.0
	女	691	26.0	47.0	2.0	1.0	11.0	13.0
	無回答	49	29.0	45.0	2.0	0.0	2.0	22.0
年齢	～20代	70	19.0	40.0	3.0	0.0	36.0	3.0
	30代	144	25.0	53.0	3.0	1.0	15.0	4.0
	40代	170	15.0	60.0	4.0	2.0	17.0	2.0
	50代	219	18.0	58.0	2.0	1.0	11.0	11.0
	60代	305	29.0	49.0	2.0	0.0	7.0	13.0
	70代～	318	30.0	34.0	2.0	0.0	8.0	26.0
	無回答	13	8.0	39.0	8.0	0.0	8.0	39.0

【クロス集計】（％）「移住物語」のような読み物

		標本数 (件)	満足	やや満足	やや不満	不満	不明	無回答
性別	男	499	12.4	43.9	3.2	1.2	25.5	13.8
	女	691	17.0	42.0	1.0	1.0	23.0	16.0
	無回答	49	12.0	39.0	2.0	0.0	16.0	31.0
年齢	～20代	70	11.0	30.0	3.0	1.0	51.0	3.0
	30代	144	10.0	54.0	2.0	2.0	28.0	4.0
	40代	170	9.0	51.0	2.0	2.0	32.0	2.0
	50代	219	13.0	50.0	3.0	1.0	21.0	12.0
	60代	305	19.0	43.0	1.0	0.0	21.0	16.0
	70代～	318	19.0	31.0	2.0	1.0	16.0	31.0
	無回答	13	8.0	23.0	8.0	0.0	15.0	46.0

【クロス集計】（％）全体の読みやすさ・理解しやすさ

		標本数 (件)	満足	やや満足	やや不満	不満	不明	無回答
性別	男	499	16.6	50.1	4.6	0.8	15.2	12.6
	女	691	23.0	48.0	3.0	2.0	11.0	14.0
	無回答	49	20.0	47.0	6.0	0.0	4.0	22.0
年齢	～20代	70	16.0	40.0	1.0	3.0	37.0	3.0
	30代	144	19.0	57.0	4.0	3.0	14.0	4.0
	40代	170	12.0	60.0	7.0	2.0	17.0	2.0
	50代	219	16.0	55.0	6.0	1.0	12.0	11.0
	60代	305	23.0	51.0	3.0	1.0	10.0	13.0
	70代～	318	28.0	35.0	2.0	1.0	7.0	28.0
	無回答	13	8.0	46.0	8.0	0.0	0.0	39.0

どの記事においても、男女とも紙面を「満足、やや満足」と答えた人は約70%に及び、おおむね満足を得られていると言えます。

年代では、「分からない」と答えた人が20代以下に多いほか、移住物語のような読み物は全年齢層の満足度が他の項目と比べ低くなっています（最低が20代の41%）。

若年層にもっと目を通してもらう紙面上の工夫や、読み物の満足度を向上させる工夫が必要であると言えます。

また、30代から50代の「やや不満、不満」がやや多いことから、理由を調べ改善に向けた工夫が必要であると言えます。

問15 「広報たかやま」の紙面についてどのようにお考えですか。次の各項目について、あなたの考えに近いものを選んでください。（それぞれ1つに○印）

【B】 デザイン・レイアウトなど

【単純集計】 (%)

	満足	やや満足	やや不満	不満	不明	無回答
全体的なデザイン や配色	25.3	45.4	1.8	1.2	14.3	12.1
文字の大きさ	30.8	44.8	2.0	0.6	9.6	12.2
ページ数 (12～24p)	27.0	44.3	1.9	0.5	12.7	13.6
発行回数 (月2回)	33.2	41.0	1.2	1.0	10.8	12.8

デザイン・レイアウトなどを7割以上が満足

デザイン、文字の大きさ、ページ数、発行回数とも70%以上の人が「満足、やや満足」と答えています。

一方、分からないと答えた人は平均で約12%ありました。

また、不満の理由（自由意見）では「文字を大きくしてほしい」「字が小さい」とありました。

高齢の読者層は今後、ますます増えることから、文字ポイントを大きくする紙面づくりの検討が必要になってきます（高齢層の関心の高いページや高齢層に伝えたい行政情報など）。

【クロス集計】（％）全体的なデザインや配色

		標本数 (件)	満足	やや満足	やや不満	不満	不明	無回答
性別	男	499	22.2	46.7	1.8	1.6	16.8	10.8
	女	691	27.6	44.7	1.9	1.0	12.7	12.0
	無回答	49	22.4	40.8	0.0	0.0	10.2	26.5
年齢	～20代	70	18.6	42.9	0.0	2.9	32.9	2.9
	30代	144	24.3	53.5	2.1	2.1	15.3	2.8
	40代	170	17.6	56.5	5.3	2.4	16.5	1.8
	50代	219	20.5	53.0	2.3	1.4	12.3	10.5
	60代	305	26.2	46.2	1.0	1.0	12.5	13.1
	70代～	318	33.3	31.4	0.6	0.0	11.9	22.6
	無回答	13	30.8	15.4	0.0	0.0	7.7	46.2

【クロス集計】（％）文字の大きさ

		標本数 (件)	満足	やや満足	やや不満	不満	不明	無回答
性別	男	499	27.7	47.3	1.8	0.4	12.0	10.8
	女	691	32.4	44.3	2.3	0.6	8.2	12.2
	無回答	49	40.8	26.5	0.0	2.0	4.1	26.5
年齢	～20代	70	20.0	45.7	0.0	0.0	31.4	2.9
	30代	144	31.9	51.4	2.1	0.0	11.8	2.8
	40代	170	22.4	57.1	3.5	0.6	14.1	2.4
	50代	219	25.1	51.6	1.8	1.4	9.1	11.0
	60代	305	33.4	46.9	1.6	0.7	4.9	12.5
	70代～	318	38.7	29.2	2.2	0.3	6.6	23.0
	無回答	13	30.8	23.1	0.0	0.0	0.0	46.2

【クロス集計】 (%) ページ数 (12～24ページ)

		標本数 (件)	満足	やや満足	やや不満	不満	不明	無回答
性別	男	499	24.4	46.9	1.8	0.2	14.8	11.8
	女	691	29.1	42.8	1.9	0.7	11.4	14.0
	無回答	49	24.5	38.8	2.0	0.0	8.2	26.5
年齢	～20代	70	22.9	38.6	1.4	0.0	34.3	2.9
	30代	144	27.8	51.4	4.2	0.0	13.9	2.8
	40代	170	19.4	57.1	2.4	0.6	17.6	2.9
	50代	219	23.7	51.6	1.4	1.4	10.5	11.4
	60代	305	27.5	46.2	1.6	0.7	10.2	13.8
	70代～	318	33.3	29.6	1.3	0.0	9.1	26.7
	無回答	13	30.8	23.1	0.0	0.0	0.0	46.2

【クロス集計】 (%) 発行回数 (月2回)

		標本数 (件)	満足	やや満足	やや不満	不満	不明	無回答
性別	男	499	29.5	44.1	0.8	0.4	13.4	11.8
	女	691	35.6	39.7	1.4	1.4	9.3	12.6
	無回答	49	36.7	28.6	2.0	2.0	6.1	24.5
年齢	～20代	70	30.0	34.3	0.0	0.0	32.9	2.9
	30代	144	29.2	49.3	3.5	1.4	13.9	2.8
	40代	170	25.3	52.4	2.4	0.6	13.9	2.8
	50代	219	28.3	47.5	1.8	1.8	9.1	11.4
	60代	305	35.1	42.6	0.3	1.3	6.9	13.8
	70代～	318	41.2	27.4	0.3	0.6	6.6	23.9
	無回答	13	38.5	23.1	0.0	0.0	0.0	38.5

「全体的なデザインや配色」について、30代から60代までは70%以上が「満足、やや満足」と答え、20代以下では約62%、70代以上では約65%が「満足、やや満足」と答えています。

ただし、20代では「分からない」と答えた割合が約33%ありました。

「文字の大きさ」についても、30代から60代までは70%以上が「満足、やや満足」と答え、20代以下では約66%、70代以上では約68%が「満足、やや満足」と答えています。

ただし、20代では「分からない」と答えた割合が約31%ありました。

「ページ数」についても、30代から60代までは70%以上が「満足、やや満足」と答え、20代以下では約62%、70代以上では約63%が「満足、やや満足」と答えています。

ただし、20代では「分からない」と答えた割合が約34%ありました。

「発行回数」についても、30代から60代までは75%以上が「満足、やや満足」と答え、20代以下では約64%、70代以上では約69%が「満足、やや満足」と答えました。

ただし、20代では「分からない」と答えた割合が約33%ありました。

デザインやレイアウトなどには、おおむねの満足を得られていることが明らかになりましたが、若年層と高齢層の満足度をさらに高める工夫が必要であると言えます。

発行回数やページ数についても一定の満足を持っていることが明らかとなりましたので、今後も同じペースとボリュームでの発行が必要であると言えます。

問16 今後「広報たかやま」や市政情報のFM・ケーブルテレビ放送番組について、改善した方がよいと思うことや情報発信してほしいことがございましたらご記入ください。

種別	内容
広報たかやま	<p>問合先の担当者名を記してほしい</p> <p>高齢者世帯は情報を得る機会の少ない、または全然無い世帯がある事を入れて作って欲しい。</p>
市のホームページ	なし
ヒッツFM	<p>シティインフォメーションの方が良かった</p> <p>市民をパーソナリティにしたバラエティ番組の制作</p>
ケーブルテレビ	再放送が多すぎる

その他、アンケート本編の最後に設けられた自由意見では「ケーブルテレビを見ていると、市長の一生懸命さが伝わってくる。高山市が明るく感じられる。その明るさがすみずみまで行きわたり、高山市が元気になればいい」とありました。



ケーブルテレビの収録風景

4. 今後の対応

媒体	課題	対応	備考
広報たかやま	読まれる紙面	<ul style="list-style-type: none"> ●市の施策や事業、情報のひろばなど、市民の関心が高い記事は、引き続き充実させて掲載します。 ●情報を伝えたいターゲットに応じて紙面の掲載位置を組みます。 ●連載シリーズや裏面企画をもっと読んでもらえるよう、市民の関心を引く話題づくりに工夫します。 	
広報たかやま	読みやすい紙面	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者などに読みやすい紙面にするため、話題に応じて文字ポイントを大きくしたり、行間を開けるなどの工夫をします。 ●より読みやすい紙面となるよう、目を引く見出しのつけ方や写真の増加など、紙面デザインの技法を活用した編集作業に取り組みます。 	
ヒッツFM CATV	視聴したくなる番組 放送の制作	<ul style="list-style-type: none"> ●情報取得手段としての回答数が低いので、より多くの市民に視聴いただけるよう、手法を検討します。 ●アンケートで読み取れた市民の関心が高い広報記事を、FMやCATVで積極的に放送します。 ●情報取得手段としてFMでは70代以上が4%、CATVでは20代以下が1%、40代が5%と他の年齢層に比べ回答数が低いので、これらの年齢層の視聴を増やす取り組みをします。 ●CATVの再放送の縮小を放送事業者に要望します。 	
ホームページ	閲覧数の増加	<ul style="list-style-type: none"> ●情報取得手段としての回答数が低いので、より多くのユーザーに閲覧してもらえるよう、手法を検討します。 ●来年度のホームページリニューアルに合わせ、見やすさ・探しやすさを講じます。 ●ホームページにフェイスブックやカレンダー機能など、新しいユーザーを増やす仕組みを検討します。 	

高山市の広報活動について
～総合計画アンケートのまとめ～

平成 26 年 3 月
高山市企画管理部企画課